

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十八年
十月

戦時下の母の三大任務

完く生むこと、強く育てること、勇ましく獻げること、これこそ戦時下の母の三大任務です。

完く生むために、母は自ら強健でなければなりません。強く育てるために、母は賢且つ堅くなければなりません。勇ましく獻げるために、母は忠誠でなければなりません。しかも、忠誠は獻げる時において初まるのではなく、生むも、育てるも、一つに母の忠誠そのことに他なりません。

すめろぎに仕へまつれとわれを生みし

我がたらちねぞたふとかりける

子として詠じた東佐久良雄のこの歌は、先づ、母の心の中にある歌です。生んで、育て、それから後に獻ずるのではありません。獻ずることゝ生み、獻ずることゝ育てるのが、戦時下の母のこゝろです。

獻ずることは貴い。しかも、獻ずるために生むこと育てることは、母のみに與へられた任務、母のみに出来る忠誠です。

戦時下において、出生率の増加と、乳幼児死亡率の低減とを聞くことは、なんといふ有り難いこととせう。現に子を獻げる多くの母に敬意を表すると共に、今日のすべての日本の母に敬意を感ぜずにはゐられません。

廢刊の御挨拶

「幼児の母」は、戦下物資尊重の必要上から、本號を以て廢刊いたします。甚だ遺憾ではありますが、御諒承願ひます。

「幼児の母」は昭和十五年一月發刊以來、まだ大して年を重ねて居りませんが、月と共に全国各地幼稚園の御利用と、各園保護者の方々の御愛讀とによつて、發刊部数は、號を追ふて増加、實は御註文に應じきれない有様です。しかも、その増加と用紙尊重の必要とは、益々相容れないこととなります。廢刊の已むを得ざる次第であります。

幼児保育は益々重要になります。その家庭の任務は益々重大になります。この小片子も、その發刊の初めの志を以て、愈々益々お役に立ちたいのです。併し、用紙の節減が弾丸になるといふことは、廢刊を悲しませるよりも勇ましくします。一切が勝ち抜くためです。

昭和十八年十月

日本幼稚園協會